

別冊資料

1 単元指導計画	1
2 検証授業2 Unit6 「What would you like?」	
(1)学習指導案	6
(2)ワークシート・振り返りシート	24

単元指導計画（第5学年）

◆自らの学びの調整に関わる場所

※学習活動の精選に関わる場所

	学習活動	指導上の留意点	備考	
導入 3分	1 Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ・気分、日付、曜日、天気についてたずねる。 How are you today? How is the weather today? What is the date today? What day is it today? 		
	2 単元のゴールを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールについて確認する。 ※前時に映像を視聴し、単元のゴールの姿や、見通しについては確認済み。 		
	Our Goal			
	3 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の時間のめあてを確認する。(第1・2時、3・4時、5・6時は同じ) 		
Today's Goal				
		<p>◆「CAN-DO」を示し、今日の授業で<u>どのようなことができるようになるか</u>といふことを共有する。</p>	<p>振り返りシート（「CAN-DO」の確認） 「CAN-DO」黒板に提示</p>	
<p>第1時 CAN-DO 知っている表現や単語から推測して、話の順番やおおよその内容を聞き取ることができる。</p>		<p>第2時 CAN-DO 話の内容を、より詳しく聞き取ることができる。</p>		
<p>第3時 CAN-DO (①) についてたずね合うことができる。</p>		<p>第4時 CAN-DO (②) についてたずね合うことができる。</p>		
<p>第5時 CAN-DO (①②) について、伝え合うことができる。</p>		<p>第6時 CAN-DO (①②) について、やり取り/発表することができる。</p>		
	4 Let's Sing ※第2時以降は授業の冒頭で流す。	<ul style="list-style-type: none"> ・一度曲を流し、聞こえてきた英語や内容について分かったことなどを質問する。 ・曲を再度流し歌えるところを歌ってみるよう促す。 		

展 開 31 分	5 Small Talk ※第1・3・5時のみ。 ※モデル会話として「やり取り」の前に行うことも可能。 ※「Word Link」を関連させて扱うことも可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT とモデル会話を行ったり、児童にたずねたりしながら行う。 ・児童が後に行う言語活動のヒントとなるように「Key Phrase」や既習表現を扱うようにする。 	Small Talk アイディア集（英語教育推進室 ALT 作成 2021 改訂）参照
	6 Word Link ※歌やチャンツと関連させて扱うことも可能。 ※「Small Talk」と関連させて扱うことも可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の真似をして発音したり、Picture Dictionary の音声やメトロラーニングを使って練習したりさせる。 	ピクチャーカード Picture Dictionary
	7 Let's Chant ※1度扱ったらそれ以降は授業の冒頭で流す。 ※「話す」練習の際に個に応じた学習方法の一つとして利用する。 ・「Key Phrase」を示すときに活用することも可能	<ul style="list-style-type: none"> ・一度チャンツを流し、聞こえてきた英語や内容について分かったことなどを質問する。 ・チャンツを再度流し、言えるところを一緒に言ってみよう促す。 	
展 開 31 分 第 1 ・ 2 時	8 Starting Out (第1、2時) ○第1時は知っている表現などからおおよその話の内容を推測して聞き取る。	<p>(第1時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面や設定を確認し、「通し再生」を聞かせ、順番に番号を書かせる。 ・映像を視聴させ、ワークシートに分かったことや気付いたことを書かせる。 ・おおよその内容の具体的な視点を与えて聞き取らせる。 <p>◆自分の課題に応じて学習方法を選択して音声を聞き取り、分かったことや気付いたことなどをワークシートに記入させる。</p>	「聞き取り方法」 黒板に提示 児童用 iPad (学習者用デジタル教科書・ロイロノート) ワークシート

	<p>○第2時は「Key Phrase」を中心に詳しく聞き取る。</p> <p>9 Let's watch and think (第2時)</p>	<p>(第2時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Key Phrase」が出てくる映像を視聴し、ワークシートの問題に答えさせる。 <p>◆<u>答えが合っているかどうか、自分の課題に応じた学習方法を使って音声を聞き取らせる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真を確認し、答えを予想させる。 ・「予想が合っているか聞いてみよう」と投げ掛け、映像を全員で視聴し、答えを記入させる。 	<p>「聞き取り方法」 黒板に掲示 児童用 iPad (学習者用デジタル教科書・ロイロノート)</p>
<p>展開 31分 第3・4時</p>	<p>8 Let's Listen (第3、4時)</p> <p>9 Let's Try (第3、4時)</p> <p>※「Small Talk」を関連させて扱うことも可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や設定を確認し、答えを予想させた後、「予想が合っているか聞いてみよう」と投げ掛け、音声を聞かせ回答を書かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を紹介し、知っている表現を使って会話をするよう促す。 <p>◆<u>自分の課題に応じた学習方法を使ってペアで会話をさせる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童から困りを出させ、児童のモデル会話を紹介したり、ALTと指導者のモデル会話を聞かせたりして「Key Phrase」を示す。 ・ペアを代えながらやり取りをさせる。 ・困りはその都度全体で共有し解決する。お手本となるペアを紹介し、取り入れて話すよう促す。 <p>◆<u>最初のペアに戻ってもう一度やり取りを行い、よくなっているところを伝え合わせる。</u></p>	<p>「話す練習方法」 黒板に提示 児童用 iPad (学習者用デジタル教科書・ロイロノート)</p>
	<p>8 Step1～3 (第5、6時)</p> <p>※「Small Talk」を関連させて扱うことも可能。</p> <p>○第5時では、第6時の発表へ向けてペアでのやり取りを通して練習をする。</p>	<p>(第5時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで扱ってきた表現などを使って、ペアで会話をさせる。(チャレンジ1) <p>◆<u>自分の課題に応じた学習方法を使ってペアで会話をさせる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っていることを全体で共有し、表現を使って会話できているペアを紹介したり、指導者とALTのモデル会話を聞かせたりすることで、どのような表現を使えばよいのか(「Key Phrase」) 	<p>「話す練習方法」 黒板に提示 児童用 iPad (学習者用デジタル教科書・ロイロノート)</p>

<p>展開 31分 第5・6時</p>	<p>○第6時は発表/やり取りをする。</p>	<p>を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Key Phrase」を示し、表現練習を一斉にさせる。 <p>◆<u>自分の課題に応じた学習方法を使ってグループの中でペアを代えながら、「Key Phrase」を用いた会話をさせる。</u> (チャレンジ2)</p> <p>◆<u>聞き手を意識して話しているペアや、「Key Phrase」を使い、会話が継続しているペアを紹介し、よいところをたずね、取り入れて会話するよう促す。</u></p> <p>◆<u>会話をしたグループの友達とお互いのよかったところを伝え合わせる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・困りはその都度全体で共有し解決する。 <p>(第6時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りの中に「Key Phrase」以外の困りが出ていれば紹介し、会話に必要な主な表現について ALT にたずね、確認をする。 ・ペア（ペアを代えながら）やグループの友達とやり取り/発表させる。(チャレンジ3) ・表現の仕方について児童の困りがあれば、その都度全員で共有し、解決できるようにする。 <p>◆<u>半分の時間が終わる頃に一旦止め、聞き手を意識して話しているペアや、主な表現を使い、会話が継続しているペアを紹介し、よいところをたずね、取り入れて話すよう促す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア（ペアを代えながら）やグループで続きのやり取り/発表をさせる。(チャレンジ4) <p>◆<u>第5時の一番最初のペアにもどり、もう一度やり取り/発表をさせ、最初に聞いた時よりもよくなっているところを伝え合わせる。</u></p>	<p>「Key Phrase」黒板に提示 児童用 iPad (学習者用デジタル教科書・ロイロノート)</p>
-----------------------------	-------------------------	--	--

終末 6分	10 振り返りをする。	<p>◆<u>振り返りシートを使ってどのような課題をもち、その解決のために選んだ学習方法がうまくいったのかいかなかったのかを振り返らせる。</u></p> <p>◆<u>今日の学習を生かしてやってみたいことを書かせ、次の時間や単元の学習、または生活につなげていくようにさせる。</u></p> <p>◆<u>自律的な学習意欲の見られる振り返りについて紹介する。(次時でも)</u></p>	振り返りシート
文字 指導 5分	11 Sounds and Letters	・アルファベットの書き順動画やジングルなどを使って音声に親しませてから文字を書いたり、読んだりさせる。	

★ 「Key Phrase」・・・「CAN-DO リスト」に書かれた内容を英語の表現にしたもの
(例) Unit3

CAN-DO 「話すこと (発表)」

「学びたい教科やなりたい職業について伝えることができる」

↓

Key Phrase 「I want to study ～.」「I want to be a～.」

★ 「主な表現」・・・「Key Phrase」以外に Enjoy Communication で必要とされる表現
(例) Unit4

「Look at my card.」「It's your turn.」「It's my turn.」など

第5学年 外国語科学習指導案

令和5年11月

指導者 重石 愛

1. 単元名 ふるさとメニュートレイを使って注文したり会計したりしよう。

2. 単元について

1 学期は、学期の最終ゴールである「ALT の先生に自分のことをもっと知ってもらうために自己紹介をする」ことを目指して、それぞれの Unit の学習を進めてきた。Unit1 では、「名前と好きなもの・こと」、Unit2 では、「誕生日とほしいもの」、Unit3 では、「学びたい教科と将来の夢」について聞き取ったり、話したりする活動を行った。子どもたちは「CAN-DO」や「Key Phrase」を頼りにしながら、その単元でできるようになることを目指して取り組む姿があった。

授業前に行った外国語の学習に対するアンケートによると、77 人中 66 人の児童が「外国語が好きだ」と答えている。また、「もっと学びたい」、「もっとできるようになりたい」という気持ちをもって外国語の学習をしている児童は 77 人中 73 人で、多くの児童が高い意欲をもって取り組んでいる。しかし、「学んだ英語を使ってやってみたいことはあるか」という質問に対しては、「ある」と答えた児童は 44 人、「ない」と答えた児童は 33 人であった。

現在の段階では、外国語の学習に意欲的に取り組んではいるものの、この意欲がこの先も続き、学んだ英語を生かして、身近な外国人である ALT とコミュニケーションをとってみたいと思ったり、外国人に日本のよいところを伝えたいと考えたり、外国人と助け合っていきたいと感じたりすることが、グローバル化が進んでいくこれからの社会で生きていくために重要なことではないかと考える。

そこで、外国語学習への意欲を持続させるため、自らの学びを調整しながら児童が学習しているよう、「めあて」「個に応じた学習方法の選択」「振り返り」の三つの学習過程を仕組む。(指導案の中に◆太字下線で示している。)
「CAN-DO リスト」を活用して「めあて」を決め、見通しをもって学習に取り組むこと、「個の課題に応じた学習方法を選択」し取り組むことで、「聞くこと」「話すこと」ができるようになること、学習を「振り返って」、「めあて」に照らし合わせ、自分ができるようになったことを実感し、これからの学習や生活に生かしていくために新たな「めあて」をもつこと。この学習過程は、学年が上がるにつれて、自分で行うことができるようになり、生涯にわたって学び続ける一つの方策になると考える。特に、小学校における外国語科学習初期の段階では、ワークシートや、デジタル教材、振り返りシートなどを教師の支援の下、適切に用いることで自らの学びを調整する力を育成していきたい。また、外国語科の1単元は、第1、2時は聞き取り、第3、4時は聞き取りとやり取り、第5、6時はやり取りと発表という構成になっており、学習活動に対して学ぶ必然性をもたせるために、学期のゴールとなる活動を「Check Your Steps」から最初に示す。

2 学期は ALT の先生が「家族に大分を訪れてほしいと思っているが、なかなか自分の国から出ようという気持ちになってくれない」というエピソードから、「ALT の先生の家族が訪れたく

なるように地域のおすすめを紹介しよう」と投げ掛け、「CAN-DO」を用いて、それぞれの Unit ができるようになることを示す。これまで学習したことを使って地域のおすすめを紹介するというのを伝え、実際のスピーチの姿を映像として提示し、話す内容と相手に伝わる工夫について「めあて」を決めさせる。

これまで、Unit4 では、人物の紹介、Unit5 では建物や場所の案内ができるようになってきている。さらに、Unit6 では、2 学期の最終ゴールに向けて、「地域紹介の三つ目として、大分県の有名な食べ物を紹介できるようになろう」と呼び掛け、「食べ物の紹介ができるようになるために、まずは大分県を含む日本各地の名物を使ったふるさとメニューを考えて、注文や会計の仕方を知ろう」というゴールを示す。その際、具体的なやり取りの場면을映像で示す。

第 1、2 時の「聞き取り」の時間においては、全体で聞いた後に個の課題に応じて聞き取り方法を選択して聞かせ、自分の答えを確認させたり、分からなかったところを聞き取らせたりする。その際、デジタル教材を利用するが、それだけでは難しい児童に対しては、児童同士の学びの時間を確保したり、指導者や ALT が個別の支援を行ったりしながら、「話していることが分かった」という思いをもたせたい。

第 3、4 時の「やり取り（注文・会計の練習）」の時間においては、話す練習の時間を確保し、自信をもたせるようにする。その際に、デジタル教材の音声を利用したり、友達とアドバイスをし合ったり、ALT に教えてもらったりするなど、自分の課題に応じた練習方法を選択させて取り組ませたい。

第 5、6 時の「やり取り（買い物をする）」の時間には、自信をもつことで楽しんで活動できるように、第 3 時から第 5 時までを通して、十分に練習をさせてからのぞませる。また、友達との学び合いの中で、「分かるようになった」「できるようになった」という経験を通して、「分かった」「できた」という思いをもたせていきたい。さらに、ALT にふるさとメニューについて詳しく児童に質問してもらい、2 学期の最終ゴールへとつなげていきたい。

振り返りの場では、自分で学習方法を選択し、試行錯誤しながら課題の解決に取り組んだ学びの過程を振り返ったり、ペアの友達から自分ができるようになってきていることを伝えてもらったりすることで、「分かった」「できた」という思いを実感させる。「話すことが楽しかった」「友達の話が聞けておもしろかった」「他の友達の話も聞いてみたい」「違う話題も話してみたい」など、英語でのコミュニケーションを楽しみ、外国語科学習に肯定的に取り組んでいく姿を目指したい。

3. 単元の目標

- ・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり会計したりすることなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- ・アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと [やり取り]	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉・What would you like?、I'd like ~.、How much is it?、It's ~yen. 及びその関連語句などについて、理解している。</p> <p>〈技能〉・ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、What would you like?、I'd like ~.、How much is it?、It's ~yen. を用いて、聞いたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。</p>	<p>・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしている。</p>	<p>・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。</p>

6. 単元の指導計画 (全6時間)

単元計画		評価の計画			
時	題材／ねらい	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度	CAN-DO「聞く」「話す(やり取り)」「話す(発表)」
1	<p>「ていねいに注文したり、会計したりするやり取りの内容を聞き取ろう」</p> <p>ていねいに注文したり、会計したりするやり取りのおおよその内容を、聞き取りの方法を工夫することにより、理解できるようにする。</p>			<p>(聞く) 相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えようとしている。</p> <p>(発言・発表・行動観察・ワークシート・振り返りシート)</p>	<p>知っている表現や単語から推測して話の順番や、おおよその内容を聞き取ることができる。</p>
2	<p>「ていねいに注文したり、会計したりするやり取りの内容を聞き取ろう」</p> <p>ていねいに注文したり、会</p>	<p>★【知】(聞く) What would you like?、I'd like ~.、How much is it?、It's ~yen. 及びその関連語句などについて、理解している。</p>		<p>(聞く) 相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、短い話の概</p>	<p>話の内容を、より詳しく聞き取ることができる。</p>

	計したりするやり取りの詳細な内容を、聞き取りの方法を工夫することにより、理解できるようにする。	★【技】(聞く)ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、聞き取る技能を身に付けている。 (発言・発表・行動観察・ワークシート・振り返りシート)		要を捉えようとしている。 (発言・発表・行動観察・ワークシート・振り返りシート)	
3	「ていねいに注文したり、会計したりし合おう」 ていねいに注文することについてモデル会話や友だちのよいところをまねすることによりたずね合うことができるようにする。	【知】(話す・やり取り) What would you like?, I'd like ~.及びその関連語句などについて、理解している。 【技】(話す・やり取り)ていねいな表現を使って注文することなどについて、What would you like?, I'd like ~.及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)	(聞く)相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文することなどについて、短い話の概要を捉えている。 (話す・やり取り)自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文することなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)		ていねいな表現で注文し合うことができる。 (使ってほしい表現) What would you like?, I'd like ~.
4	「ていねいに注文したり、会計したりし合おう」 注文した料金の値段をたずねたり、答えたりすることについてモデル会話や友だちのよいところをまねすることにより会計ができるようにする。	【知】(話す・やり取り) How much is it?, It's ~yen.及びその関連語句などについて理解している。 【技】(話す・やり取り)会計することなどについて How much is it?, It's ~yen.及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)	(話す・やり取り)自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、会計することなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)		ていねいな表現で会計し合うことができる。 (使ってほしい表現) How much is the ~?, It's ~yen.

5	<p>「ふるさとメニューを考えて、友だちと注文したり会計したりし合おう」</p> <p>日本各地の名物を選んだふるさとメニューについて、モデル会話や友だちのよいところをまねしたり、練習方法を工夫したりすることにより、注文したり、会計したりすることができるようにする。</p>		<p>(話す・やり取り) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>(発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p>		<p>ふるさとメニューを考えて注文したり、会計したりすることができる。</p> <p>(使ってほしい表現)</p> <p>What would you like?, I'd like ~ and ~.</p> <p>How much is the ~?, ~ is ~yen. ~ yen, please.</p>
6	<p>「ふるさとメニューを考えて、友だちと注文したり会計したりし合おう」</p> <p>ふるさとメニュートレイを使って、モデル会話や友だちのよいところをまねしたり、練習方法を工夫したりすることにより、買い物をするようにする。</p>		<p>★(話す・やり取り) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>(発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p>	<p>★(話す・やり取り) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>(発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p>	<p>ふるさとメニュートレイを使って買い物をするようにする。</p> <p>(使ってほしい表現)</p> <p>What would you like?, I'd like ~ and ~.</p> <p>How much is the ~?, ~ is ~yen. ~ yen, please.</p>

※★は、観点別の学習状況を記録に残す評価場面。記録に残さない時間においても、評価規準に則って児童の学習状況を把握し、適切な指導を行う。

※「読むこと」「書くこと」の評価は単元に捉われず継続的に見取っていく。

7. 本時案 (1/6)

- (1) 題目 ていねいな表現での注文や会計の仕方
 (2) 本時のねらい ていねいに注文したり、会計したりするやり取りのおおよその内容を、聞き取りの方法を工夫することにより、理解できるようにする。
 (3) 主な表現 What would you like?, I'd like ~, How much is it?, It's ~yen.
 (4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価・備考
導入 3分	1 Greeting	<ul style="list-style-type: none"> 気分、日付、曜日、天気についてたずねる How are you today? How is the weather today? What is the date today? What day is it today? 	
	2 単元のゴールを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールについて再度確認する。 ※前時に映像を視聴し、単元のゴールの姿や、見通しについては確認済み。 	
	3 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 今日の時間のめあてを確認する。 	
		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ていねいに注文したり、会計したりするやり取りの内容を聞き取ろう。</p> <p>◆「CAN-DO」を示し、今日の授業でどのようなことができるようになるのかということとを共有する。</p>	<p>※振り返りシート</p> <p>※「CAN-DO」黒板に提示</p>
展開 31分	4 Let's Sing What would you like?	<ul style="list-style-type: none"> 一度曲を流し、聞こえてきた英語や内容について分かったことなどを質問する。 曲を再度流し歌えるところを歌ってみよう促す。 	
	5 Small Talk What food do you like? H:Hello. What did you eat for breakfast? A:I ate ~. How about you? What did you eat for breakfast? H:I ate ~. I like ~. How about you? What food do you like? A:I like ~. H:Wow, me, too. A:What food do you like, Student1? S1:I like ~. A/H: You like ~. Wow, me too.など	<ul style="list-style-type: none"> ALT とモデル会話を行ったり、児童に「好きな食べ物」をたずねたりしながら行う。 	<p>※Small Talk アイディア集(英語教育推進室 ALT 作成 2021 改訂) P.13</p> <p>※ピクチャーカード</p> <p>※PD</p>

	<p>A: What food do you like, Student2? S2:I like ~. A/H:Nice.など H:Do you like (デザート), Student3? ※ピクチャーカードを見せながら Word Link につなげる。</p> <p>※Word Link 「デザート」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PD の「デザート」を示しながら、児童に好きかどうかたずねる。 ・「デザート」の言い方を ALT のまねをして発音したり、PD の音声やメトロラーニングを使って練習したりさせる。 	
	<p>6 Let's Chant ①I'd like a hamburger.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一度チャンツを流し、聞こえてきた英語や内容について分かったことなどを質問する。 ・「3人は何を注文したか」をたずねる。 ・チャンツを再度流し、言えるところを一緒に言ってみよう促す。 	
	<p>7 Starting Out</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・No.1~4の絵から場面設定や登場人物などを確認し、音声を「通し再生」する。 ・教科書に聞こえた順に番号を書かせ、全員で答え合わせをする。 ・No.1~4の映像を視聴させ、ワークシートに分かったことや気付いたことを書かせる。 ・「登場人物が何を注文したのか」という視点を与え、これまで耳にしてきた表現をヒントに、話のおおよその内容を聞き取るように促す。 ◆<u>自分に合う方法（繰り返し聞く・スピードを落として聞く・聞く前に場面の状況を確認する・友だちと聞き取れた英語を合わせるなど）を使って聞き、分かったことや気付いたことなどをワークシートに記入させる。</u> ◆<u>選択した学習方法では聞き取れていない児童に対して、違う学習方法を提示する。</u> ◆<u>一人で聞き取るのが難しい児童については、指導者やALTと一緒に一旦停止やスロー再生などをして音声を聞いたり、ゆっくり言い直したりして個別に支援を行う。</u> ◆<u>ペアで相談させる。</u> ・全体で発表し交流させる。 	<p>■「聞く」（主体的に学習に取り組む態度）相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えようとしている。</p> <p>（発言・発表・行動観察・ワークシート・振り返りシート）</p> <p>※児童用 iPad(学習者用デジタル教科書・ロイロノート) ※ワークシート</p>
文字指導 5分	<p>8 Sounds and Letters</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの書き順動画（小文字）を再生し、名前や書き方を復習する。 ・「abg」の名前を言い、P.93になぞり書きをさせる。 ・3文字の名前を言い、小文字を書き取らせる。 	

終末 6分	9 振り返りをする。	<p>◆<u>振り返りシートを使ってどのような課題をもち、その解決のために選んだ学習方法がうまくいったのかいかなかったのかを振り返らせる。</u></p> <p>◆<u>今日の学習を生かしてやってみたいことを書かせ、次の時間や単元の学習、または生活につなげていくようにさせる。</u></p> <p>◆<u>ペアで振り返りを共有させる。</u></p> <p>◆<u>自律的な学習意欲の見られる振り返りについて紹介する。(次時でも)</u></p>	※振り返りシート
----------	------------	--	----------

7. 本時案 (2/6)

- (1) 題目 ていねいな表現での注文や会計の仕方
- (2) 本時のねらい ていねいに注文したり、会計したりするやり取りの詳しい内容を、聞き取りの方法を工夫することにより、理解できるようにする。
- (3) 主な表現 What would you like?, I'd like ~, How much is it?, It's ~yen.
- (4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価・備考
導入 3分	1 Greeting ※Let's Sing What would you like? ※Word Link 「味など」	<ul style="list-style-type: none"> ・気分、日付、曜日、天気についてたずねる How are you today? How is the weather today? What is the date today? What day is it today? ・歌「What would you like?」にどのようなお店や料理が出てきたか、どの注文をしたかとその理由などをたずね、Word Link「味など」につなげる。 ・「味など」の言い方をALTのまねをして発音したり、PDの音声やメトロラーニングを使って練習したりさせる。 	<p>※ピクチャーカード</p> <p>※PD</p>
	2 単元のゴールを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを想起させる。 	
	3 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の時間のめあてを確認する。 	
	ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。		
	ていねいに注文したり、会計したりするやり取りの内容を聞き取ろう。		
		<p>◆<u>「CAN-DO」を示し、今日の授業でどのようなことができるようになるのかということ</u> <u>を共有する。</u></p>	<p>※振り返りシート</p> <p>※「CAN-DO」黒板に提示</p>
	4 Let's Chant ②How much is it?	<ul style="list-style-type: none"> ・一度チャンツを流し、聞こえてきた英語や内容について分かったことなどを質問する。 ・チャンツを再度流し、言えるところを一緒に言ってみよう促す。 	
	5 Starting Out	<ul style="list-style-type: none"> ・注文や会計をする表現が出てくるNo.3、4の映像について、全員で視聴し、ワークシート2番の質問に答えさせる。 	<p>★「聞く」(知識)</p> <p>What would you like?, I'd like ~, How much is it?,</p>

<p>展開 31分</p>		<p>◆自分で方法を選択してもう一度 No.3、4の音声や映像から聞き取りを行い、答えが合っているか確認させる。 (繰り返し聞く・スピードを落として聞く・聞く前に場面の状況を確認する・友だちと聞き取れた英語を合わせるなど) ◆選択した学習方法では聞き取れていない児童に対して、違う学習方法を提示する。 ◆一人で聞き取るのが難しい児童については、指導者やALTと一緒に一旦停止やスロー再生などをして音声を聞いたり、ゆっくり言い直したり個別に支援を行う。 ◆ペアで相談させる。 ・全員で映像を視聴させ、答え合わせをしながら、表現を確認する。</p>	<p>It's ~yen. 及びその関連語句などについて、理解している。 ★「聞く」(技能) ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、聞き取る技能を身に付けている。 (発言・発表・行動観察・ワークシート・振り返りシート) ※児童用 iPad(学習者用デジタル教科書・ロイロノート) ※ワークシート</p>
	<p>6 Let's Watch and Think</p>	<p>・写真の料理について日本のどの料理と似ているかたずね、世界の料理について関心をもたせる。 ・絵や写真を確認し、答えを予想させる。 ・「予想が合っているか聞いてみよう」と投げ掛け、映像を全員で視聴し、答えを線で結ばせる。 ・映像を視聴しながら、味や、形など児童に問い掛けたり、ピエロギ祭りについても説明したりしながら答え合わせをする。</p>	<p>■「聞く」(主体的に学習に取り組む態度) 相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、短い話の概要を捉えようとしている。 (発言・発表・行動観察・ワークシート・振り返りシート)</p>
<p>文字指導 5分</p>	<p>7 Sounds and Letters</p>	<p>・ジングルを再生し、アルファベットの音声に親しませる。 ・P.95の「始まりの音③」の音声を聞いて、始まりの音が同じものを選ばせる。</p>	
<p>終末 6分</p>	<p>8 振り返りをする。</p>	<p>◆振り返りシートを使ってどのような課題をもち、その解決のために選んだ学習方法がうまくいったのかいかなかったのかを振り返らせる。 ◆今日の学習を生かしてやってみたいことを書かせ、次の時間や単元の学習、または生活につなげていくようにさせる。 ◆ペアで振り返りを共有させる。 ◆自律的な学習意欲の見られる振り返りについて紹介する。(次時でも)</p>	<p>※振り返りシート</p>

7. 本時案 (3/6)

- (1) 題目 ていねいな表現での注文や会計の仕方
 (2) 本時のねらい ていねいに注文することについてモデル会話や友だちのよいところをまねすることによりたずね合うことができるようにする。
 (3) 主な表現 What would you like?, I'd like ~.
 (4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価・備考
導入 3分	1 Greeting ※Let's Sing What would you like? ※Let's Chant ①I'd like a hamburger. ②How much is it?	・気分、日付、曜日、天気についてたずねる How are you today? How is the weather today? What is the date today? What day is it today?	
	2 単元のゴールを確認する。	・前時で確認した単元のゴールを想起させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。 </div>	
	3 本時のめあてを確認する。	・今日の時間のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ていねいに注文したり、会計したりし合おう。 </div>	
	※Small Talk については、第4時で Let's Try と関連付けて行う。	◆「CAN-DO」を示し、今日の授業でどのようなことができるようになるのかということとを共有する。	※振り返りシート ※「CAN-DO」黒板に提示
4 Let's Listen①	・Starting Out で、3人の登場人物が注文した料理を想起させ、線で結ばせる。「覚えていたか正解を聞いてみよう」と投げ掛け、音声を聞かせる。 ・答え合わせをする。	■「聞く」(思考・判断・表現)相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文することなどについて、短い話の概要を捉えている。 (発言・発表・行動観察・ワークシート・振り返りシート)	
5 Word Link 「食べ物・飲み物」	・Let's Try2 では食べたい料理を注文し合う活動を行うということを伝え、食べ物や飲み物の言い方を知ろうと投げ掛け、Word Link につなげる。 ・「食べ物・飲み物」の言い方をALTのまねをして発音したり、PDの音声やメトロラーニングを使って練習したりさせる。	※ピクチャーカード	
6 Let's Try②	・PDのP.8,9を使って、注文をたずねたり、注文を受けたりすることを伝える。 ・「知っている表現を使って、注文し合おう」と投げ掛け、ペアで取り組ませる。 ◆困りに応じた話す練習方法を示し、解決できるように促す。	■「話すこと [やり取り]」(知識) What would you like?, I'd like ~.及びその関連語句などについて、理解している。 (発言・発表・行動)	

<p>展開 31分</p>	<p>B:Hello. A:Hello. What would you like? B:I'd like ~. A:OK, ~. Here you are. B:Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 注文をたずねたり、受けたりすることができているペアを紹介したり、ALTと指導者のモデル会話を聞かせたりして、どんな表現を使えばいいのか全体で考えさせ、「Key Phrase」を示す。 ペアを代えながら「Key Phrase」を使って活動に取り組みさせる。 ◆表現ができなくて困っている児童には、指導者やALTが最初の音を言うなどのヒントを与えたり、一緒に話したりするなどの支援を行う。 表現の仕方についての児童の困りがあれば、その都度全員で共有し、解決できるようにする。 ◆初めのペアともう一度何枚か巻末絵カードを空欄に置かせ、注文をたずねたり受けたりさせることで、語順を意識させる。また、お互いのよくなっているところを伝え合わせる。 	<p>観察・振り返りシート)</p> <p>■「話すこと [やり取り]」(技能) ていねいな表現を使って注文することなどについて、What would you like?, I'd like ~. 及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p> <p>■「話すこと [やり取り]」(思考・判断・表現) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文することなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p>
<p>終末 6分</p>	<p>7 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆振り返りシートを使ってどのような課題をもち、その解決のために選んだ学習方法がうまくいったのかいかなかったのかを振り返らせる。 ◆今日の学習を生かしてやってみたいことを書かせ、次の時間や単元の学習、または生活につなげていくようにさせる。 ◆自律的な学習意欲の見られる振り返りについて紹介する。(次時でも) 	<p>※振り返りシート</p>
<p>文字指導 5分</p>	<p>8 Sounds and Letters</p>	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの書き順動画を再生し、名前や書き方を復習する。 児童が推測できそうな3文字の名前を言い、小文字を書き取らせる。 	

7. 本時案 (4/6)

- (1) 題目 ていねいな表現での注文や会計の仕方
 (2) 本時のねらい 注文した料理の値段をたずねたり、答えたりすることについてモデル会話や友だちのよいところをまねすることにより会計ができるようにする。
 (3) 主な表現 How much is it?, It's ~yen.
 (4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価・備考
導入 3分	1 Greeting ※Let's Sing What would you like? ※Let's Chant ①I'd like a hamburger. ②How much is it?	・気分、日付、曜日、天気についてたずねる How are you today? How is the weather today? What is the date today? What day is it today?	
	2 単元のゴールを確認する。	・前時で確認した単元のゴールを想起させる。 ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。	
	3 本時のめあてを確認する。	・今日の時間のめあてを確認する。 ていねいに注文したり、会計したりし合おう。 ◆「CAN-DO」を示し、今日の授業でどのようなことができるようになるのかということとを共有する。	※振り返りシート ※「CAN-DO」黒板に提示
展開 31分	4 Small Talk How much is it? 5 Let's Try③ モデル会話例 H:ALT, Look at these foods. A:OK. H:What food do you like? A:I like hamburger. H:Wow, I like hamburger, too. How much is it? A:It's 570yen. H:Wow, it's expensive, isn't it? A:I think so. What food do you like, Student1? S1:I like ~.	・Let's Try で表現が使えるように、指導者とALT、ALT と何人かの児童の間で値段をたずねる活動をする。 ・「今度はみんなもペアで値段をたずね合ってみよう」と投げ掛け、Let's Try③へつなげる。 ◆ <u>困りに応じた話す練習方法を示し、解決できるように促す。</u> ・ <u>値段をたずねたり、答えたり</u> できているペアを紹介し、どのような表現を使えばよいのか全体で考えさせ、「Key Phrase」を示す。 ・児童から困りを引き出しながら、「値段のような大きな数の言い方が難しいので練習しよう」と投げ掛け、Word Link につなげる。 ・二つ以上の食べ物を組み合わせて、値段をたし算しているペアを取り上げ、Let's Listen2 へつなげる。	※Small Talk アイディア集(英語教育推進室 ALT 作成 2021 改訂) P.13 ※PD ※ピクチャーカード

	<p>A:How much is it? S1:It's ~yen. (S2、S3…)</p> <p>※Word Link 「数」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「数」の言い方を ALT のまねをして発音したり、PD の音声やメトロラーニングを使って練習したりさせる。 	
6	Let's Listen②	<ul style="list-style-type: none"> ・「二つ以上の物を注文したとき、値段はどう言えばいいのか聞いてみよう」と投げ掛け音声を聞かせる。 ・英語のたし算の表現が出てきたことを確認し、() の中に数字を書かせる。 ・答え合わせをする。 	
7	<p>Let's Try④</p> <p>モデル例</p> <p>H:This is my menu. A curry and rice is 490 yen. A salad is 240 yen. A mineral water is 100yen. 490 yen plus 240 yen plus 100 yen is 830 yen. A:It's healthy!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「次は二つ以上の物を注文した時の値段を言ってみよう」と投げ掛け、1000 円以内のメニューを選んでトレイにのせ、ペアでメニューと値段を言い合わせる。 ・教科書に絵や値段を書かせる時間を短縮し、言語活動の時間を多くとるため、ロイロノート上に作成したトレイとメニューを利用する。 ・「知っている表現を使って、メニューと値段を言い合おう」と投げ掛け、ペアで組みませる。 <p>◆<u>困りに応じた話す練習方法を示し、解決できるように促す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>値段をたずねたり、答えたりできているペアを紹介し、どのような表現を使えばいいのか全体で考えさせ、指導者と ALT のモデル会話を聞かせ、聞いている方は一言感想 (Nice、Unique、Healthy など) を返すよう促す。</u> ・ペアを代えながら、メニューと値段を言い合わせる。 <p>◆<u>表現ができなくて困っている児童には、指導者や ALT が最初の音を言うなどのヒントを与えたり、一緒に話したりするなどの支援を行う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の仕方についての児童の困りがあれば、その都度全員で共有し、解決できるようにする。 <p>◆<u>初めのペアともう一度メニューと値段を言い合わせ、お互いのよくなっているところを伝え合わせる。</u></p>	<p>■「話すこと [やり取り]」(知識) How much is it?、It's ~yen. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>■「話すこと [やり取り]」(技能) 会計することなどについて How much is it?、It's ~yen. 及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>■「話すこと [やり取り]」(思考・判断・表現) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、会計することなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>(発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p> <p>※ロイロノート</p>
終末6分	8 振り返りをする。	<p>◆<u>振り返りシートを使ってどのような課題をもち、その解決のために選んだ学習方法がうまくいったのかいかなかったのかを振り返らせる。</u></p> <p>◆<u>今日の学習を生かしてやってみたいことを書かせ、次の時間や単元の学習、または生活につなげていくようにさせる。</u></p> <p>◆<u>自律的な学習意欲の見られる振り返りについて紹介する。(次時でも)</u></p>	※振り返りシート

文字指導 5分	9 Sounds and Letters	<ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを再生し、アルファベットの音声に親しませる。 ・P.95の「終わりの音①」の音声を聞いて、終わりの音が同じものを選ばせる。 	
------------	----------------------	---	--

7. 本時案 (5/6)

- (1) 題目 ていねいな表現での注文や会計の仕方
(2) 本時のねらい ふるさとメニューを用いた買い物の仕方について、モデル会話や友だちのよいところをまねしたり、練習方法を工夫したりすることにより、注文したり、会計したりすることができるようにする。
(3) 主な表現 What would you like?, I'd like ~ and ~, How much is the ~?, ~ is ~yen., ~ yen, please.
(4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価・備考
導入 3分	1 Greeting ※Let's Sing What would you like? ※Let's Chant ①I'd like a hamburger. ②How much is it?	<ul style="list-style-type: none"> ・気分、日付、曜日、天気についてたずねる How are you today? How is the weather today? What is the date today? What day is it today? 	
	2 単元のゴールを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で確認した単元のゴールを想起させる。 	
	3 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の時間のめあてを確認する。 	
		<p style="text-align: center;">ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。</p> <p style="text-align: center;">ふるさとメニューを考えて、友だちと注文したり会計したりし合おう。</p> <p>◆「CAN-DO」を示し、今日の授業でどのようになれるのかということとを共有する。</p>	<p>※振り返りシート ※「CAN-DO」黒板に提示</p>
	4 Small Talk How many apples do you want? H:Look. Here is a busket, and some kind of fruits. You can take some fruits, up to 100. How many apples do you want, ALT? A:I want 10 apples. H:OK. (リンゴを10個児童と一緒に数を	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットと果物の絵を見せ、児童にたずねながら100個まで果物を入れる。 ・5のまとまりや10のまとまりで果物の絵を準備しておく。 ・果物をバスケットに入れながら、児童に数を言わせる。 	<p>※ロイロノート(スクリーンに提示)</p>

<p>展開 31分</p>	<p>言いながらバスケットに入れる) A:What do you want, Student1? S1:I want some peaches. A:How many peaches do you want? S1:I want 25 peaches. H:OK.(桃を 25 個児童と一緒に数を言いながらバスケットに入れる)</p>		
<p>5 Step1</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末絵カードの予備カードに、日本各地の名物の絵を描かせる。また、PD の P.8 の下段に名物の名前と値段を書かせる。 ・後で注文をしたり、会計をしたりする活動をすることを知らせ、相手が会計しやすいように 2~3 品で 1000 円以内になるような値段設定にさせる。 ・1 枚かき終わったら、メニューの絵カードを準備したり、2 枚目をかいたりするように促す。 ・iPad などで調べてよいことを伝える。 	<p>※巻末絵カード ※巻末コミュニケーションカード</p>
<p>6 Step2</p> <p>モデル会話例 A:Hello. B:Hello, and welcome. What would you like? A:I'd like Toriten, sarad, and soup please. B: Toriten, sarad, and soup. (トレイにカードを置きながら) Anything else? A:No, thank you. How much is it? B:(PD に書かれた値段を見ながら) Toriten ~yen, sarad ~yen, soup ~yen. ~yen(合計), please. A:OK.(支払う) B:Here you are.(トレイを渡す) A:Thank you.</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとメニュートレイを使って買い物をする練習をしよう」と投げ掛け、巻末コミュニケーションカードのふるさとメニュートレイと、メニューの絵カードを使ってペアで店員役とお客役に分かれ、買い物の練習をさせる。(チャレンジ 1) ◆<u>困った時にはどんな練習方法があったかを提示し、解決できるように促す。</u> ・途中で困っていることはないかたずね、会話ができているペアを紹介したり、ALT と指導者のモデル会話を聞かせたりして、どんな表現を使えばいいのか全体で考えさせ、「Key Phrase」を示す。 ・お店の店員さんとお客さんという関係なので、ていねいな言葉で話す必要があるということを伝え、「please」の表現を紹介する。 ・ALT に「please」がある場合とない場合ではどのように印象が違うのかを説明してもらう。 ◆<u>デジタル教科書のモデル会話やチャンツなどを利用したり、ALT や友だちにアドバイスをもらったりしながら、ペアでもう一度練習をさせる。(チャレンジ 2)</u> ・表現の仕方についての児童の困りがあれば、その都度全員で共有し、解決できるようにする。 	<p>■「話すこと「やり取り」」(思考・判断・表現) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p> <p>※児童用 iPad(学習者用デジタル教材)</p> <p>※PD</p>

		<p>◆聞き手を意識して話しているペアや、会話が継続しているペアを紹介し、よいところをたずね、取り入れてやり取りするよう促す。</p> <p>・4人グループを作り、ペアを代えながら練習させる。</p> <p>◆会話をしたグループの友だちとお互いのよかったところを伝え合わせる。</p>	
終末6分	7 振り返りをする。	<p>◆振り返りシートを使ってどのような課題をもち、その解決のために選んだ学習方法がうまくいったのかいかなかったのかを振り返らせる。</p> <p>◆今日の学習を生かしてやってみたいことを書かせ、次の時間や単元の学習、または生活につなげていくようにさせる。</p> <p>◆自律的な学習意欲の見られる振り返りについて紹介する。(次時でも)</p>	※振り返りシート
文字指導5分	8 Sounds and Letters	<p>・アルファベットの書き順動画を再生し、名前や書き方を復習する。</p> <p>・児童が推測できそうな3文字の名前を言い、小文字を書き取らせる。</p>	

7. 本時案 (6/6)

- (1) 題目 ていねいな表現での注文や会計の仕方
- (2) 本時のねらい ふるさとメニューを用いた買い物の仕方について、モデル会話や友だちのよいところをまねしたり、練習方法を工夫したりすることにより、実際のレストランに即した場面において注文したり、会計したりすることができるようにする。
- (3) 主な表現 What would you like?, I'd like ~ and ~, How much is the ~?, ~ is ~yen., ~ yen, please.
- (4) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価・備考
導入3分	1 Greeting ※Let's Sing What would you like? ※Let's Chant ①I'd like a hamburger. ②How much is it?	<p>・気分、日付、曜日、天気についてたずねる How are you today? How is the weather today? What is the date today? What day is it today?</p>	
	2 単元のゴールを確認する。	<p>・単元のゴールをもう一度おさえ、最終的に目指す姿について確認させる。</p>	
	<p>ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。</p>		

	<p>3 本時のめあてを確認する。</p>	<p>・今日の時間のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ふるさとメニューを考えて、友だちと注文したり会計したりし合おう。</p> <p>◆「CAN-DO」を示し、今日の授業でどのようなことができるようになるのかということとを共有する。</p> <p>・前時の学習を想起させ、注文したり、会計したりするときの表現の仕方についておさえる。</p>	<p>※振り返りシート ※「CAN-DO」黒板に提示 「Key Phrase」黒板に提示</p>
<p>展開 31分</p>	<p>4 Step3</p> <p>目指す会話例</p> <p>A:Hello. B:Hello, and welcome. What would you like? A:I'd like Toriten, sarad, and soup please. B: Toriten, sarad, and soup. (トレイにカードを置きながら) Anything else? A:No, thank you. How much is it? B:(PD に書かれた値段を見ながら)Toriten ~yen, sarad ~yen, soup ~yen. ~yen(合計), please. A:OK.(支払う) B:Here you are.(トレイを渡す) A:Thank you.</p>	<p>・ふるさとメニュートレイを使って、注文したり会計したりする活動を多くの友達やALT と行うことを伝える。</p> <p>◆<u>困った時にはどんな練習方法があったかを提示しておく。</u></p> <p>・ペアを代えながら、取り組ませる。(チャレンジ3)</p> <p>・表現の仕方についての児童の困りがあれば、その都度全員で共有し、解決できるようにする。</p> <p>・ALT には、そのメニューを選んだわけや、名物について詳しくたずねてもらう。</p> <p>◆<u>半分の時間が終わる頃に一旦止め、聞き手を意識して話しているペアや、主な表現を使い、会話が継続しているペアを紹介し、よいところをたずね、取り入れて話すよう促す。</u></p> <p>・続きのペアから注文したり、会計したりする活動を続けて行わせる。(チャレンジ4)</p> <p>◆<u>最後に最初のペアにもどり、もう一度買い物のやり取りをさせ、最初に活動した時よりもよくなっているところを伝え合わせる。</u></p>	<p>★「話すこと「やり取り」」(思考・判断・表現) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>★「話すこと「やり取り」」(主体的に学習に取り組む態度) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 (発言・発表・行動観察・振り返りシート)</p> <p>※児童用 iPad(学習者用デジタル教材)</p>
<p>終末 6分</p>	<p>5 振り返りをする。</p>	<p>◆<u>振り返りシートを使ってどのような課題をもち、その解決のために選んだ学習方法がうまくいったのかいかなかったのかを振り返らせる。</u></p> <p>◆<u>今日の学習を生かしてやってみたいことを書かせ、次の時間や単元の学習、または生活につなげていくようにさせる。</u></p> <p>◆<u>自律的な学習意欲の見られる振り返りについて紹介する。(次単元でも)</u></p>	<p>※振り返りシート</p>

文字指導 5分	6 Sounds and Letters	<ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを再生し、アルファベットの音声に親しませる。 ・P.95の「終わりの音②」の音声を聞いて、終わりの音が同じものを選ばせる。 	
------------	----------------------	---	--

Unit 6 ▶ Starting Out Worksheet

1 英語を聞いて、分かったことや気づいたことを書こう。

<p>とにかくみんなで聞いてみよう！</p>	<p>あらためて自分で聞いてみよう！</p>
------------------------	------------------------

レストランで、エミリーたちはどんなものを注文しているのかな。



2 英語を聞いて、次の質問しつもんに答えよう。

(1) 店員さんとエミリーのお母さんは、エミリーにちがった聞き方で食べたいメニューをたずねているよ。その理由を考えよう。

(2) エミリーはどの味のパフェを食べたかな。絵を選んで、□に✓を入れよう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
bitter	sour	sweet	spicy

(3) レジ係さんが言ったあいさつである下の文をなぞり書きしよう。

Thank you!

Class _____ Number _____ Name _____

Unit6 What would you like? ふり返りシート①②

Class _____ Number _____ Name _____

Our Goal ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。

Today's Goal

ていねいに注文したり、会計したりするやり取りの内容を聞き取ろう。



CAN-DO①

知っている表現や単語から推測して話の順番や、おおよその内容を聞き取ることができる。

② 困ったこと・できなかったこと



① 解決方法 (◎ ○ △)

- ① 場面や状況を確認する()
- ② 友だちと相談する()
- ③ スピードを落とす()
- ④ ALTの先生に言う()
- ⑤ 何回もくり返す()
- ⑥ 一時停止する()
- ⑦ とちゅうまでもどす()
- ⑧ PDを見る()
- ⑨ 教科書を見る()
- ⑩ ALTの先生に聞く()

CAN-DO②

話の内容を、よりくわしく聞き取ることができる。

② 困ったこと・できなかったこと



① 解決方法 (◎ ○ △)

- ① 場面や状況を確認する()
- ② 友だちと相談する()
- ③ スピードを落とす()
- ④ ALTの先生に言う()
- ⑤ 何回もくり返す()
- ⑥ 一時停止する()
- ⑦ とちゅうまでもどす()
- ⑧ PDを見る()
- ⑨ 教科書を見る()
- ⑩ ALTの先生に聞く()

CAN-DO①

できなかった あまりできなかった だいたいできた よくできた

今日の学習を生かしてやってみたいこと

CAN-DO②

できなかった あまりできなかった だいたいできた よくできた

今日の学習を生かしてやってみたいこと

CAN-DO③

ていねいな表現で注文し合えることができる。



Unit6 What would you like? ふり返りシート③④

Class _____ Number _____ Name _____

Our Goal ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。

Today's Goal

ていねいに注文したり、会計したりし合おう。



CAN-DO③

ていねいな表現で注文し合うことができる。

② 困ったこと・できなかったこと



① 解決方法 (◎ ○ △)

- ① デジタル教科書を見なおす ()
- ② 友だちに聞く ()
- ③ ALT の先生に聞く ()
- ④ モデル会話につけて言う ()
- ⑤ ふきだしの文字を見る ()
- ⑥ 友だちに聞いてもらう ()
- ⑦ ALT の先生と練習する ()
- ⑧ 録画・録音をする ()
- ⑨ チャンツに合わせて言う ()
- ⑩ ローマ字から予想する ()

CAN-DO③



できなかった あまりできなかった だいたいできた よくできた

今日の学習を生かしてやってみたいこと

CAN-DO④

ていねいな表現で会計し合うことができる。

② 困ったこと・できなかったこと



① 解決方法 (◎ ○ △)

- ① デジタル教科書を見なおす ()
- ② 友だちに聞く ()
- ③ ALT の先生に聞く ()
- ④ モデル会話につけて言う ()
- ⑤ ふきだしの文字を見る ()
- ⑥ 友だちに聞いてもらう ()
- ⑦ ALT の先生と練習する ()
- ⑧ 録画・録音をする ()
- ⑨ チャンツに合わせて言う ()
- ⑩ ローマ字から予想する ()

CAN-DO④



できなかった あまりできなかった だいたいできた よくできた

今日の学習を生かしてやってみたいこと

CAN-DO⑤

ふるさとメニューを考えて注文したり、会計したりすることができる。



Unit6 What would you like? ふり返しシート⑤⑥

Class _____

Number _____

Name _____

Our Goal ふるさとメニュートレイを使って、友だちと買い物をし合おう。

Today's Goal

ふるさとメニューを考えて、友だちと注文したり会計したりし合おう。

CAN-DO⑤

ふるさとメニューを考えて注文したり、会計したりすることができる。

② 困ったこと・できなかったこと

① 解決方法 (◎ ○ △)

- ① デジタル教科書を見なおす ()
- ② 友だちに聞く ()
- ③ ALT の先生に聞く ()
- ④ モデル会話につけて言う ()
- ⑤ ふきだしの文字を見る ()
- ⑥ 友だちに聞いてもらう ()
- ⑦ ALT の先生と練習する ()
- ⑧ 録画・録音をする ()
- ⑨ チャンツに合わせて言う ()
- ⑩ ローマ字から予想する ()

CAN-DO⑤



できなかった あまりできなかった だいたいできた よくできた

今日の学習を生かしてやってみたいこと

CAN-DO⑥

ふるさとメニュートレイを使って買い物をすることができる。

② 困ったこと・できなかったこと

① 解決方法 (◎ ○ △)

- ① デジタル教科書を見なおす ()
- ② 友だちに聞く ()
- ③ ALT の先生に聞く ()
- ④ モデル会話につけて言う ()
- ⑤ ふきだしの文字を見る ()
- ⑥ 友だちに聞いてもらう ()
- ⑦ ALT の先生と練習する ()
- ⑧ 録画・録音をする ()
- ⑨ チャンツに合わせて言う ()
- ⑩ ローマ字から予想する ()

CAN-DO⑥



できなかった あまりできなかった だいたいできた よくできた

今日の学習を生かしてやってみたいこと

Check Your Steps 2「ALT の先生の家族が訪れたいくなるように地域のおすすめを紹介しよう。」

Class _____ Number _____ Name _____

My Goal	
内容	①はじめのあいさつをしよう。 Hello. ②地域のおすすめを言おう。 This is ~. ③地域のおすすめの説明や感想を言おう。
相手に伝える工夫	④おわりのあいさつをしよう。 Thank you very much

人物

場所

食べ物

行事

名物

話したい内容に✓をつけよう

他にも話したいことはないかな。

28

Unit 4

CAN-DO

身近な人ができることやできないことについて、紹介することができる。

Unit 5

CAN-DO

場所や位置をたずねたり、答えたりすることができる。

Unit 6

CAN-DO

ていねいに注文をしたり、値段をたずねたり、答えたりすることができる。

CAN-DO

これまで学習した表現や簡単な表現を使って地域のおすすめを紹介することができる。

